



特 集

変えたい！広報委員会

今年度の委員が真剣に議論

一年間の広報委員会の活動を振り返り、改善点などを話し合いました。

- 広報部では、この広報誌の発行を年2回行っています。作業について皆さんどうでしたか。
- はじめての編集作業は、戸惑うことも多くありました。慣れてくると自分としている作業が後で形になっていくのが楽しく、広報誌に掲載する写真の選定などとくに樂しかったです。
- 自宅で、自分一人で判断して進められる作業は、どんどん進みました。元々せっかちな性格で早くしないと、終わらないという気もあって（笑）
- 個人情報を扱うことも多く、外に持ち出さないように、気を付けて活

- 動が可能でした。たしかに仕事が毎日あると、参加するのは大変ですね。
- 私は未就園児がいるので、子供を連れて参加しました。
- 私は家族の世話など活動が重なることもあったので、他の家族に協力してもらえる日を中心参加しました。
- それぞれ事情や状況の変化を抱えながらの活動でしたが、「お互いさま」という気持ちで、みんなで補い合つてきました。ご協力有難うございました。

- 私は自営業なので、仕事が休めるのみ参加しました。
- 私は当初、広報部は各部会のなかでも、活動日がとても多く、なつたら大変だというイメージがありました。活動日については、みなさんはどのようにされていましたか？

- 私は仕事をもっていたので、仕事が休めるのみ参加しました。
- 私は当初、広報部は各部会のなかでも、活動日がとても多く、なつたら大変だというイメージがありました。活動日については、みなさんはどのようにされていましたか？

「活動日が多くて、なつたら大変？」な広報部

外注・協力委員など、活動をシェアして負担軽減を！

- 今後、改善策としては物理的な削減つまり、広報誌の発行回数、各号のページ数を減らすことが考えられます。それに、PTA活動を中心取材し、学校行事の掲載を減らしたり、全体の文字や写真のボリュームを減らしたりすることなどが考えられます。ただ、今まで作られてきた素晴らしい伝統を崩すとなると、反対意見ももう一つのプレッシャーは生半可なものではないと思います。
- レイアウトの作成に時間がかかるので、今まで発行された過去の広報誌や他校の広報誌などを参考にするのもいいと思います。トップがPTAなどとあります。

- は、泽山のひな型などを見せて頂いているので、それを活用すればかなりの負担が軽減されるものと思います。
- パソコンが更に2～3台あれば、班ごとに同時に作業できるので写真の選定作業などの時間が短縮できるのではないかでしょうか。
- 写真撮影も学校の写真をもつと活用させていただけたらと思います。一般父兄からの写真提供をお願いする

- 年度始めは定型に、そしてマニュアル化を！
- 年度初めの第一号は決まったレイアウトで発行することにすれば、掲載する内容が決まっているので、いろいろと手間が省けると思います。
- 今までは未経験者は何から手を付けていいのかわからないと思います。広報初心者にもわかるように広報委員会の作業の手引書をつくっておくのもいいと思います。

- マニュアル化することで、作業の見通しがつき、スケジュール調整ができる、仕事との両立がしやすくなります。
- みなさんは、様々な意見をありがとうございます。ございました。これからも活動のあり方を見直していきたいと思います。

- 保護者の方の先入観や不安が取り払われ、「広報委員会の活動に関わってみようかな？」と思う方が増えてくれるということも考えてはどうでしょうか。

動してきました。

○ 家でできることもあるかも知れませんが、やむを得ない場合を除いて、作業は学校で完結させていただきました。学校に来る回数は減らせますが、本当の負担軽減とはいえないと思います。

○ 協力委員やスクールボランティアの方に、校正をお願いするはどうでしょうか。自分たちで編集していると、なかなか間違いに気付かないのですが、委員以外の方から違う冷静な目でチェックしてもらえると、とても助かります。

○ 広報誌を外に発送するときの宛名印刷やラベル貼りや封入作業などもお手伝いしてもらえると助かります。

○ 広報委員の仕事を皆さんに広く知りていただきたい機会かもしされんね。広報委員の経験者にスクールボランティアに登録していただいて、アドバイザーにならせていただくと心強いですね。みんなで協力し合う環境が整うと理想的だと思います。